

健康・医療新産業協議会 第 1 0 回健康投資WG

事務局説明資料② (報告事項)

令和 5 年 1 2 月 7 日

経済産業省 商務・サービスグループ[°]

ヘルスケア産業課

健康経営度調査の配点

- 令和5年度健康経営度調査の配点は以下のとおり。（昨年度からの変更点を赤字で表示）

側面	ウェイト	内訳	配点	設問番号	参考）R4 年度配点
1.経営理念・ 方針	30%	明文化・健康経営の戦略	6	Q17、Q18、 <u>Q20</u>	5
		情報開示・他社への普及	7*1	Q19、 Q20 、Q22、Q23	7
2.組織体制	20%	経営層の関与	2	Q26、Q27	2
		実施体制	6	Q28、Q29、Q30、Q32、Q33	6
		従業員への浸透	3	Q34、Q35、Q36	3
3.制度・施策 実行	20%	目標設定、健診・検診等の活用	6	Q37、Q38、Q39、Q40、Q41	6
		健康経営の実践に向けた土台づくり	7*2	Q42、Q43、Q44、Q45、Q46、Q48、Q49	6
		保健指導	3	Q50、Q51、Q52、Q53	3
		生活習慣の改善	5	Q54、Q55、Q56、Q64、Q65	5
		その他の個別施策	7*3	Q57、Q58、Q59、Q60、Q61、Q62、Q63	9
4.評価改善	30%	健診・ストレスチェック、活性度の指標	9	Q66、Q67、Q68、Q72	9
		労働時間・休職	5	Q69、Q70、Q71	5
		健康経営施策の効果検証・改善	6	Q73、Q74	6

*1：令和5年度よりQ19SQ3パフォーマンス指標設問の評価を行うこととしたが、Q20を明文化・健康経営の戦略へ組み換えたため、配点は変動なし。

*2：Q46 育児または介護と就業の両立支援設問の新設に伴い、配点が増加。

*3：新型コロナウイルス感染症対策の設問を、感染症対策の設問・選択肢に含めることとしたため、配点が減少。

※総合得点は、側面毎の素点合計を回答企業全体で偏差値換算した後、それぞれにウェイトを掛け合わせ、それらを合計して算出。

健康経営銘柄2024の選定基準

■ 令和5年8月～10月 令和5年度健康経営度調査の実施

■ 令和5年10月～11月
回答結果をもとに、健康経営度が上位500位以内で、**健康経営優良法人（大規模法人部門）に申請、かつ、選定要件を満たしている企業を銘柄選定候補として選出**
※重大な法令違反等がある場合には選定しない。 ※TOKYO PRO Market上場会社は対象外。

■ 令和5年11月～令和6年2月
財務指標スクリーニングや調査回答に基づく加点等の実施

- ROE（自己資本利益率）について①直近3年間平均が0%以上または②直近3年連続で下降していない企業を対象とし、ROEが高い企業には一定の加点を行う。
- 前年度回答企業に対しても一定の加点を行う。
- 社外への情報開示の状況（Q19SQ5で回答したURL）について、Q19SQ1<d>の回答記載があるか確認し、評価を行う。

• **33業種毎原則1社の選定を予定（該当企業がない場合、その業種からは非選定）。**
なお、各業種最高順位企業の平均より優れている企業についても銘柄選定候補として選出。
ただし、1業種最大5枠とする（同率が存在し5枠を超える場合には、その企業数分の枠を設ける）。



健康経営銘柄
Health and Productivity